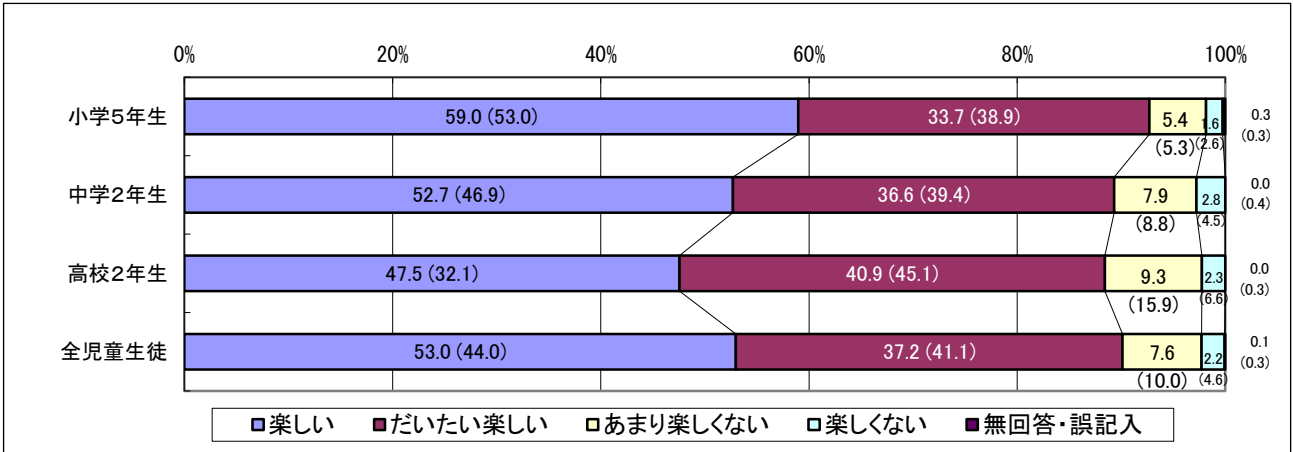


Ⅲ 学校生活に対する意識

1 学校の楽しさ 【小学校5年生…問13】【中学校2年生…問13】【高校2年生…問13】

あなたは、学校生活が楽しいですか。次の中からあてはまるものを一つ選んで、番号を○でかこんでください。
 1 楽しい 2 だいたい楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない



- 学校生活が「楽しい」「だいたい楽しい」と回答した割合は、小5 92.7%、中2 89.3%、高2 88.4%である。平成19年度と比較すると、それぞれ0.8ポイント、3.0ポイント、11.2ポイント増加しており、高2が特に増加している。「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した割合は、平成19年度と比較すると高2は半減している。
- 学校生活が「あまり楽しくない」「楽しくない」と感じている児童生徒が、全児童生徒の9.8%であり、1割の児童生徒は楽しくないと感じている。

【経年比較】「楽しい」「だいたい楽しい」と回答した割合

対象	年度	平成14年度	平成19年度	平成24年度	10年前との比較
小学5年生		83.5%	91.9%	92.7%	+9.2
中学2年生		81.5%	86.3%	89.3%	+7.8
高校2年生		75.4%	77.2%	88.4%	+13.0
全児童生徒		80.3%	85.1%	90.2%	+9.9

- この10年の経年比較を見ると、全校種で増加しており、高2は増加幅が大きい。全児童生徒を見ると、この10年で9.9ポイント増加しており、学校が楽しいと感じる児童生徒は増加傾向にある。

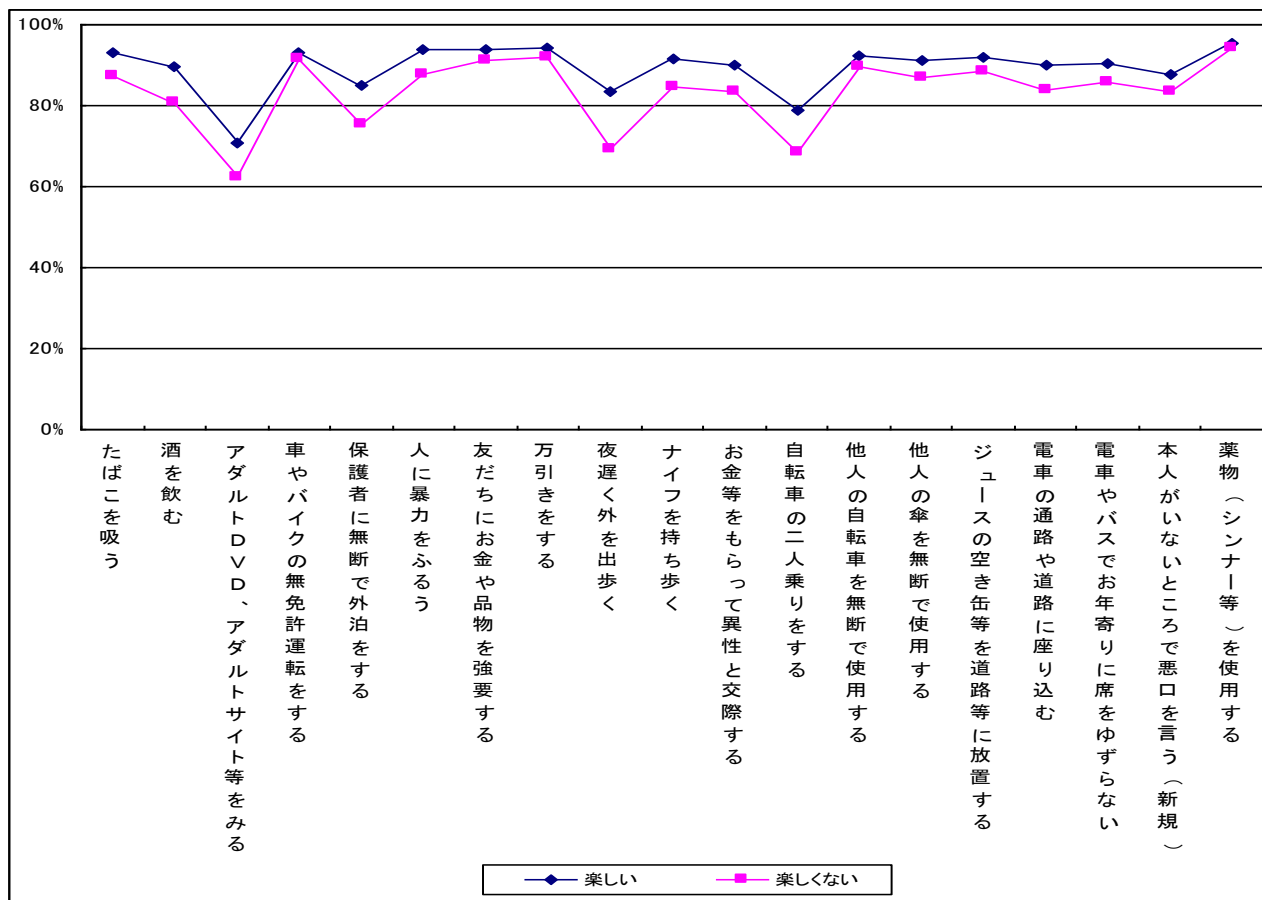
【経年比較】「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した割合

対象	年度	平成14年度	平成19年度	平成24年度	10年前との比較
小学5年生		15.0%	7.9%	7.0%	-8.0
中学2年生		17.7%	13.3%	10.7%	-7.0
高校2年生		23.2%	22.5%	11.6%	-11.6
全児童生徒		18.7%	14.6%	9.8%	-8.9

- この10年の経年比較を見ると、全校種で減少している。全児童生徒を見ると、この10年で8.9ポイント減少している。

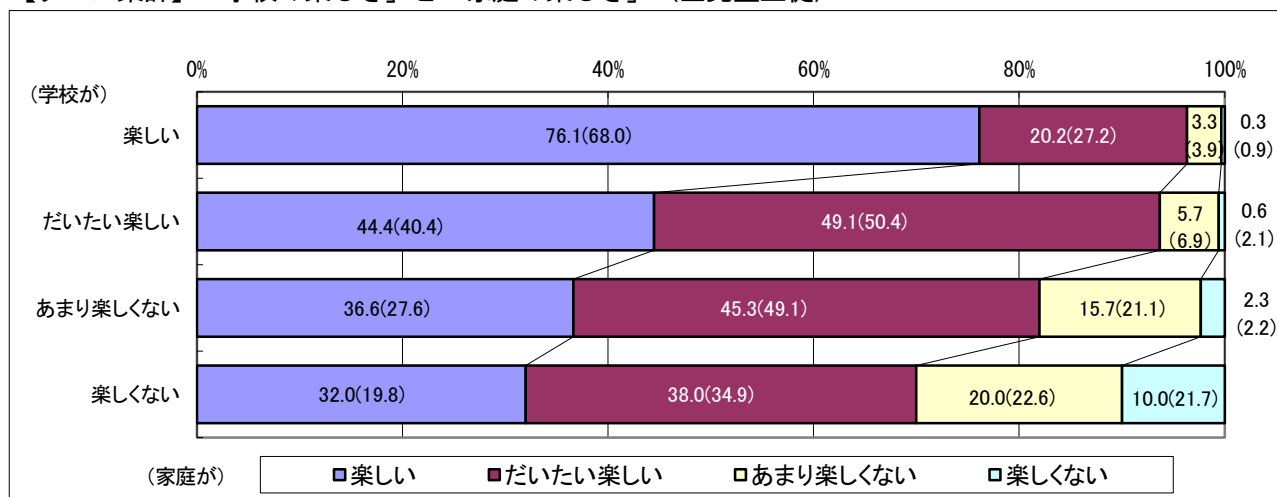
【クロス集計】「学校の楽しさ」と「友だちの行為に対する善悪の判断」との関係

「学校の楽しさ」は、「楽しい」（「楽しい」「だいたい楽しい」）群と、「楽しくない」（「あまり楽しくない」「楽しくない」）群の二つに分け、「友だちの行為に対する善悪の判断」について、「悪い」（「とても悪い」「どちらかといえば悪い」）と回答した割合を示している。



●「楽しい」と回答した群が、「楽しくない」と回答した群よりも「悪いと思う」と回答した割合が全ての項目において高い。

【クロス集計】「学校の楽しさ」と「家庭の楽しさ」（全児童生徒）

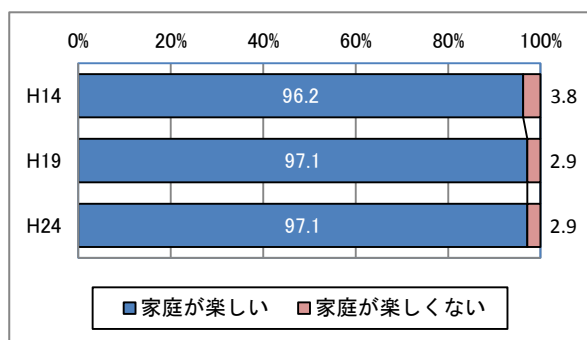


- 学校が「楽しい」と回答した児童生徒ほど、家庭が「楽しい」と回答している。これは平成 14、19 年度と同様の傾向である。
- 学校が「楽しい」と回答した児童生徒のうち、96.3%が家庭を「楽しい」または「だいたい楽しい」と回答している。学校が「だいたい楽しい」と回答した児童生徒のうち、93.5%が家庭を「楽しい」または「だいたい楽しい」と回答している。平成 19 年度と比較して、それぞれ 1.1 ポイント、2.7 ポイント増加している。
- 学校が「あまり楽しくない」と回答した児童生徒のうち、18.0%が家庭を「あまり楽しくない」または「楽しくない」と回答している。学校が「楽しくない」と回答した児童生徒のうち、30.0%が家庭を「あまり楽しくない」または「楽しくない」と回答している。平成 19 年度と比較して、それぞれ 5.3 ポイント、14.3 ポイント減少している。

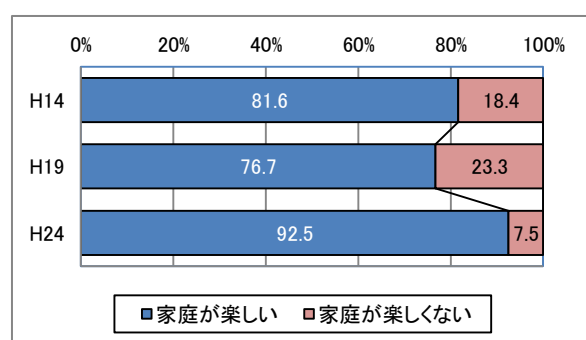
校種別

小学5年生

学校が「楽しい」と回答した児童生徒（697人）



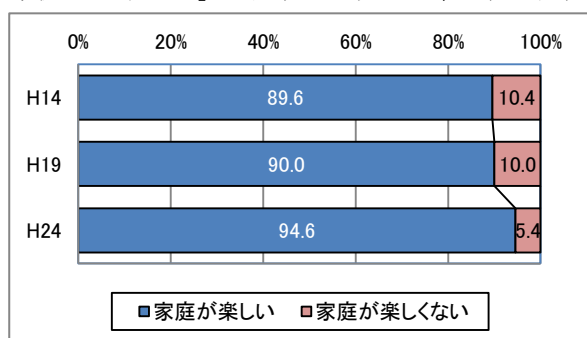
学校が「楽しくない」と回答した児童生徒（53人）



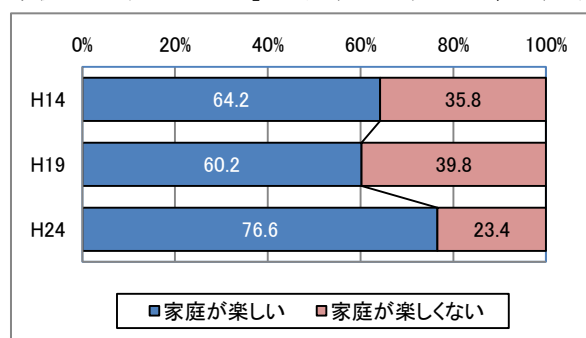
- 小5で、学校が「楽しい」と回答した児童のうち、家庭が「楽しい」と回答した割合は97.1%で、平成14、19年度とあまり変わらない。学校が「楽しくない」と回答した児童のうち、家庭が「楽しくない」と回答した割合は7.5%で、平成14、19年度と比べて減少している。

中学2年生

学校が「楽しい」と回答した児童生徒（643人）



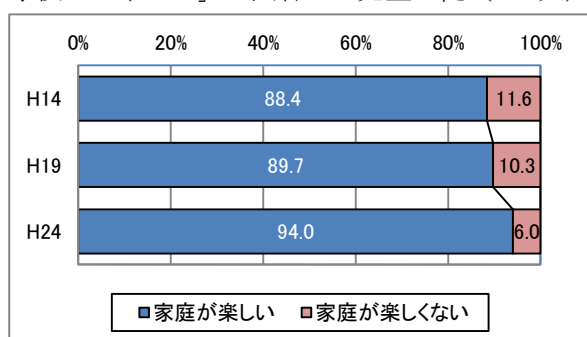
学校が「楽しくない」と回答した児童生徒（77人）



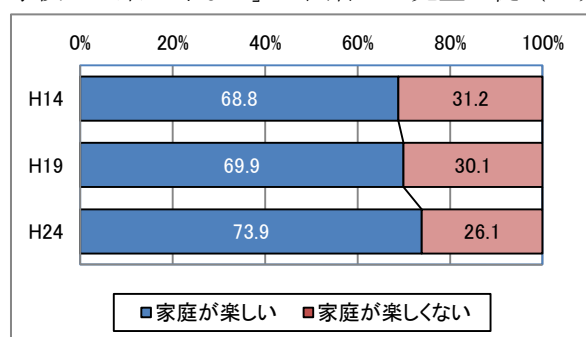
- 中2で、学校が「楽しい」と回答した生徒のうち、家庭が「楽しい」と回答した割合は94.6%で、平成19年度より増加している。学校が「楽しくない」と回答した生徒のうち、家庭が「楽しくない」と回答した割合は23.4%で、平成14、19年度と比べて減少している。

高校2年生

学校が「楽しい」と回答した児童生徒（703人）



学校が「楽しくない」と回答した児童生徒（92人）



- 高2で、学校が「楽しい」と回答した生徒のうち、家庭が「楽しい」と回答した割合は94.0%で、平成19年度より増加している。学校が「楽しくない」と回答した生徒のうち、家庭が「楽しくない」と回答した割合は26.1%で、平成14、19年度と比べて減少している。

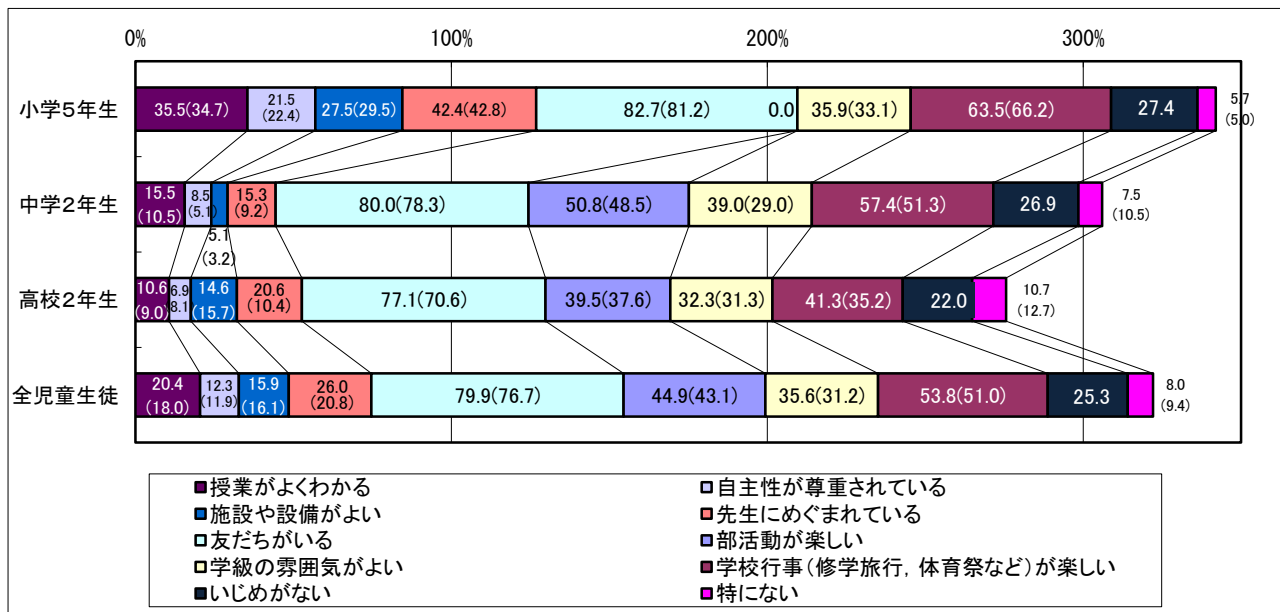
2 学校生活で満足していること【小学5年生…問14】【中学2年生…問14】【高校2年生…問14】

学校生活であなたはどのように満足していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○でかこんでください。

- | | | |
|--------------|--------------------------|-------------------|
| 1 授業がよくわかる | 2 自主性が尊重されている | 3 施設・設備がよい |
| 4 先生にめぐまれている | 5 友だちがいる | 6 部活動が楽しい (小5は除く) |
| 7 学級の雰囲気がよい | 8 学校行事 (修学旅行、体育祭など) が楽しい | |
| 9 いじめがない | 10 特にない | |

※複数回答のため100%を超えている。

※「いじめがない」は今回の調査で新たに加えたので、前回の数字を掲載していない。



- 全校種とも最も割合が高いのが「友だちがいる」である。次いで、小5では「学校行事が楽しい」、「先生にめぐまれている」、中2、高2では「学校行事が楽しい」「部活動が楽しい」の順になっており、平成19年度と同様の結果である。また、今回新設した「いじめがない」が中2、高2で5位に入っている。
- 学年が上がるにつれて、満足していることの割合の合計が減少している。

【経年比較】「学校生活で満足していること」の回答割合が高い項目（「いじめがない」は今回新設）

学年	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だちがいる (83.7%)	友だちがいる (81.2%)	友だちがいる (82.7%)
小学5年生	2	学校行事が楽しい (63.0%)	学校行事が楽しい (66.2%)	学校行事が楽しい (63.5%)
	3	先生にめぐまれている (43.4%)	先生にめぐまれている (42.8%)	先生にめぐまれている (42.4%)
	4	施設や設備がよい (32.6%)	授業がよくわかる (34.7%)	学級の雰囲気がよい (35.9%)
	5	学級の雰囲気がよい (32.2%)	学級の雰囲気がよい (33.1%)	授業がよくわかる (35.5%)

学年	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だちがいる (81.9%)	友だちがいる (78.3%)	友だちがいる (80.0%)
中学2年生	2	学校行事が楽しい (55.9%)	学校行事が楽しい (51.3%)	学校行事が楽しい (57.4%)
	3	部活動が楽しい (49.0%)	部活動が楽しい (48.5%)	部活動が楽しい (50.8%)
	4	学級の雰囲気がよい (28.7%)	学級の雰囲気がよい (29.0%)	学級の雰囲気がよい (39.0%)
	5	先生にめぐまれている (12.6%)	授業がよくわかる (10.5%)	いじめがない (26.9%)

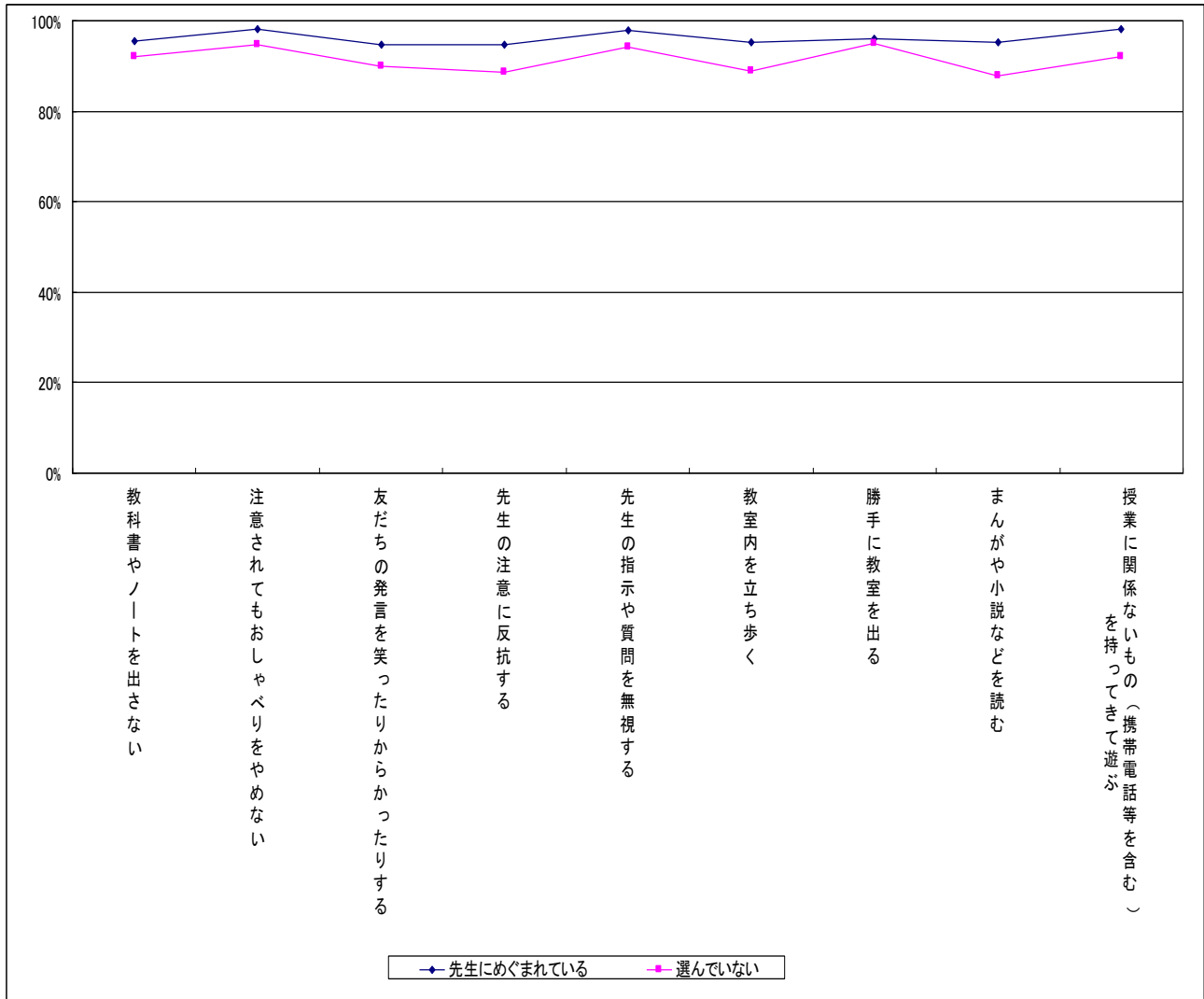
学年	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だちがいる (77.4%)	友だちがいる (70.6%)	友だちがいる (77.1%)
高校2年生	2	部活動が楽しい (33.6%)	部活動が楽しい (37.6%)	学校行事が楽しい (41.3%)
	3	学校行事が楽しい (32.9%)	学校行事が楽しい (35.2%)	部活動が楽しい (39.5%)
	4	学級の雰囲気がよい (24.8%)	学級の雰囲気がよい (31.3%)	学級の雰囲気がよい (32.3%)
	5	特にない (12.4%)	施設や設備がよい (15.7%)	いじめがない (22.0%)

- この10年の経年比較を見ると、全校種において年度、校種によらず上位3項目は同じ内容で同じ順位である。1位は「友だちがいる」で、年度、校種によらず、2位以下の項目と差がある。

【クロス集計】「先生との相性」と「授業中の行為に対する感じ方」

「先生との相性」は「学校生活で満足していること」の「先生にめぐまれている」を選択したものと、そうでないものに分けた。「授業中の行為に対する感じ方」の各項目については「悪い」（「とても悪い」「少し悪い」）群と、「悪くない」（「あまり悪くない」「まったく悪くない」）群とに分けた。

【授業中の行為に対する感じ方…悪い】



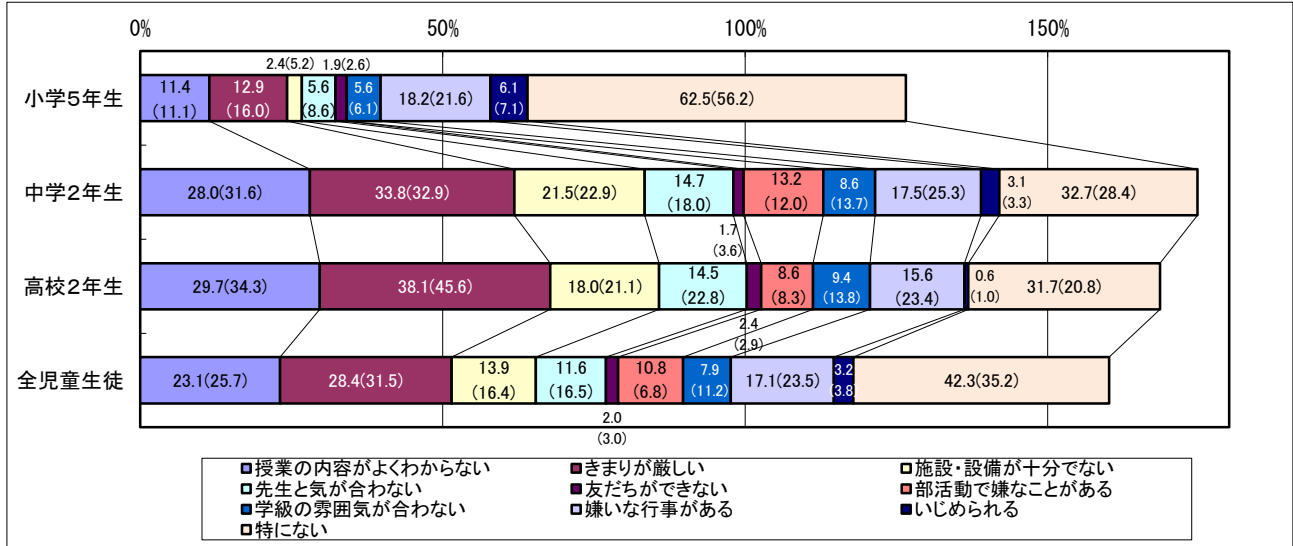
●「先生にめぐまれている」と回答した群が、「先生にめぐまれている」と回答していない群よりも「悪い」と回答した割合が全ての項目において高い。

3 学校生活で不満なこと 【小学5年生…問15】【中学2年生…問15】【高校2年生…問15】

あなたが学校生活で不満に思っていることがあれば、それはどういう点ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○でかこんでください。

- | | | |
|-----------------|------------|---------------|
| 1 授業の内容がよくわからない | 2 きまりが厳しい | 3 施設・設備が十分でない |
| 4 先生と気が合わない | 5 友だちができない | 6 部活動で嫌なことがある |
| 7 学級の雰囲気が合わない | 8 嫌いな行事がある | 9 いじめられる |
| 10 特にな | | |

※複数回答のため100%を超えている。



●全児童生徒において、学校生活不満の理由で最も割合が高いのは「特にな」(42.3%)であり、次いで「きまりが厳しい」(28.4%)、「授業の内容がよくわからない」(23.1%)、「嫌いな行事がある」(17.1%)の順となっている。「いじめられる」と回答した児童生徒の割合は、小5 6.1%、中2 3.1%、高2 0.6%であり、いずれも平成19年度とあまり変わらない。

【経年比較】「学校生活で不満なこと」の回答割合が高い項目

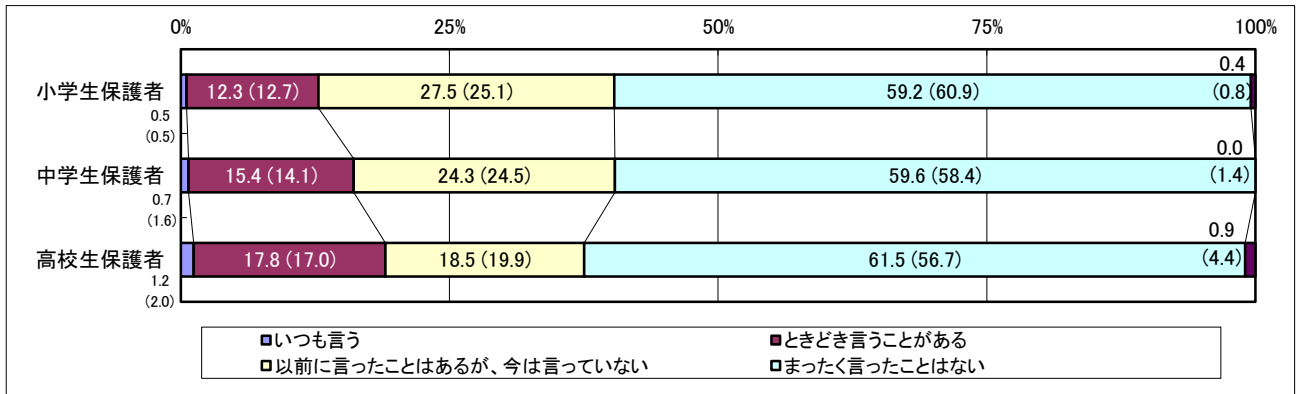
小	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	特にな (47.9%)	特にな (56.2%)	特にな (62.5%)
5	2	嫌いな行事がある (28.1%)	嫌いな行事がある (21.6%)	嫌いな行事がある (18.2%)
	3	きまりが厳しい (19.8%)	きまりが厳しい (16.0%)	きまりが厳しい (12.9%)
中	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	きまりが厳しい (40.8%)	きまりが厳しい (40.8%)	きまりが厳しい (33.8%)
	2	授業がわからない (34.5%)	授業の内容がよくわからない (31.6%)	特にな (32.7%)
3	嫌いな行事がある (29.1%)	特にな (28.4%)	授業の内容がよくわからない (28.0%)	
高	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	きまりが厳しい (44.5%)	きまりが厳しい (45.6%)	きまりが厳しい (38.1%)
	2	授業がわからない (32.3%)	授業の内容がよくわからない (34.3%)	特にな (31.7%)
3	嫌いな行事がある (30.3%)	嫌いな行事がある (23.4%)	授業の内容がよくわからない (29.7%)	
全児童生徒	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	きまりが厳しい (35.1%)	特にな (35.2%)	特にな (42.3%)
	2	特にな (30.7%)	きまりが厳しい (31.5%)	きまりが厳しい (28.4%)
3	嫌いな行事がある (29.2%)	授業の内容がよくわからない (25.7%)	授業の内容がよくわからない (23.1%)	

●この10年の経年比較を見ると、各校種において年度によらず1位は変わらず、小5は「特にな」、中2と高2は「きまりが厳しい」である。また、割合を見ると、小5の「特にな」は増加し、中2、高2の「きまりが厳しい」はいずれも減少している。

4 「学校へ行きたくない」と言う頻度 【保護者…問13】

家庭で子どもが「学校へ行きたくない」などと言うことはありますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1 いつも言う | 2 ときどき言うことがある |
| 3 以前に言ったことはあるが、今は言っていない | 4 まったく言ったことはない |



●平成19年度と比較すると、「まったく言ったことはない」と回答した保護者の割合は、小は減少し、中、高は増加している（小 1.7ポイント減、中 1.2ポイント増、高 4.8ポイント増）。

【経年比較】「いつも言う」「ときどき言うことがある」と回答した割合

対象 \ 年度	平成14年度	平成19年度	平成24年度	10年前との比較
小学生保護者	12.7%	13.2%	12.8%	+0.1
中学生保護者	12.8%	15.7%	16.1%	+3.3
高校生保護者	16.8%	19.0%	19.0%	+2.2

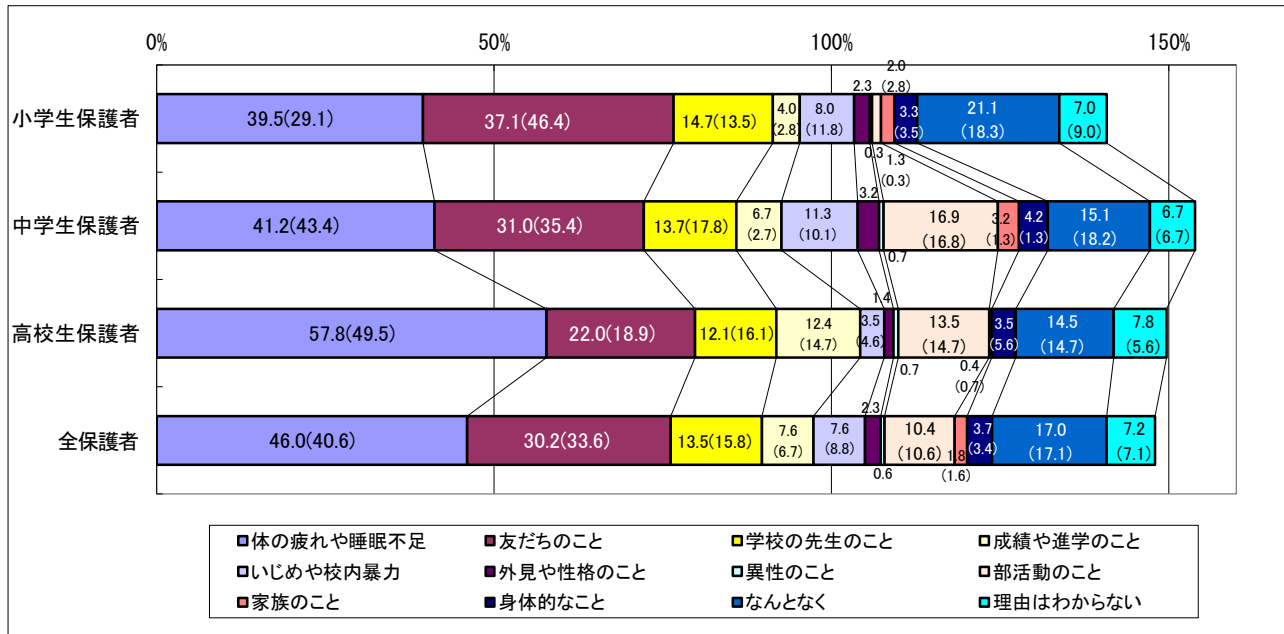
●平成24年度は平成14年度と比較すると、小はほぼ変わらないが、中、高は増加している。

5 学校に行きたくない理由 【保護者…問14】

問13で1、2または3を選んだ方のみお答えください。子どもが学校に行きたくない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを二つまで選んで、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1 体の疲れや睡眠不足 | 2 友だちのこと | 3 学校の先生のこと |
| 4 成績や進学のこと | 5 いじめや校内暴力 | 6 外見や性格のこと |
| 7 異性のこと | 8 部活動のこと | 9 家族のこと |
| 10 身体的なこと | 11 なんとなく | 12 理由はわからない |

※複数回答ため100%を超えている。



●全保護者を見ると、回答の割合が高いのは「体の疲れや睡眠不足」(46.0%)、「友だちのこと」(30.2%)、「なんとなく」(17.0%)、「学校の先生のこと」(13.5%)、「部活動のこと」(10.4%)であり、平成19年度と同じ順序である。「体の疲れや睡眠不足」は、学年が上がるにつれて増加するのに対し、「友だちのこと」は、学年が上がるにつれて減少している。

【経年比較】「学校に行きたくない理由」の回答割合が高い項目

小保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だちのこと (40.3%)	友だちのこと (46.4%)	体の疲れや睡眠不足 (39.5%)
2	体の疲れや睡眠不足 (39.0%)	体の疲れや睡眠不足 (29.1%)	友だちのこと (37.1%)	
3	なんとなく (20.9%)	なんとなく (18.3%)	なんとなく (21.1%)	

中保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	体の疲れや睡眠不足 (37.8%)	体の疲れや睡眠不足 (43.4%)	体の疲れや睡眠不足 (41.2%)
	2	友だちのこと (28.6%)	友だちのこと (35.4%)	友だちのこと (31.0%)
3	先生のこと (20.2%)	なんとなく (18.2%)	部活動のこと (16.9%)	

高保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	体の疲れや睡眠不足 (53.0%)	体の疲れや睡眠不足 (49.5%)	体の疲れや睡眠不足 (57.8%)
	2	友だちのこと (26.6%)	友だちのこと (18.9%)	友だちのこと (22.0%)
3	なんとなく (20.1%)	学校の先生のこと (16.1%)	なんとなく (14.5%)	

全保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	体の疲れや睡眠不足 (43.5%)	体の疲れや睡眠不足 (40.5%)	体の疲れや睡眠不足 (46.0%)
	2	友だちのこと (31.9%)	友だちのこと (33.6%)	友だちのこと (30.2%)
3	なんとなく (19.8%)	なんとなく (17.1%)	なんとなく (17.0%)	

●この10年の経年比較を見ると、小では平成24年度に上位2項目の順位が入れ替わり、「体の疲れや睡眠不足」「友だちのこと」の順になっている。中、高でもこれらが上位2項目であり、順位は年度によらず変わらない。

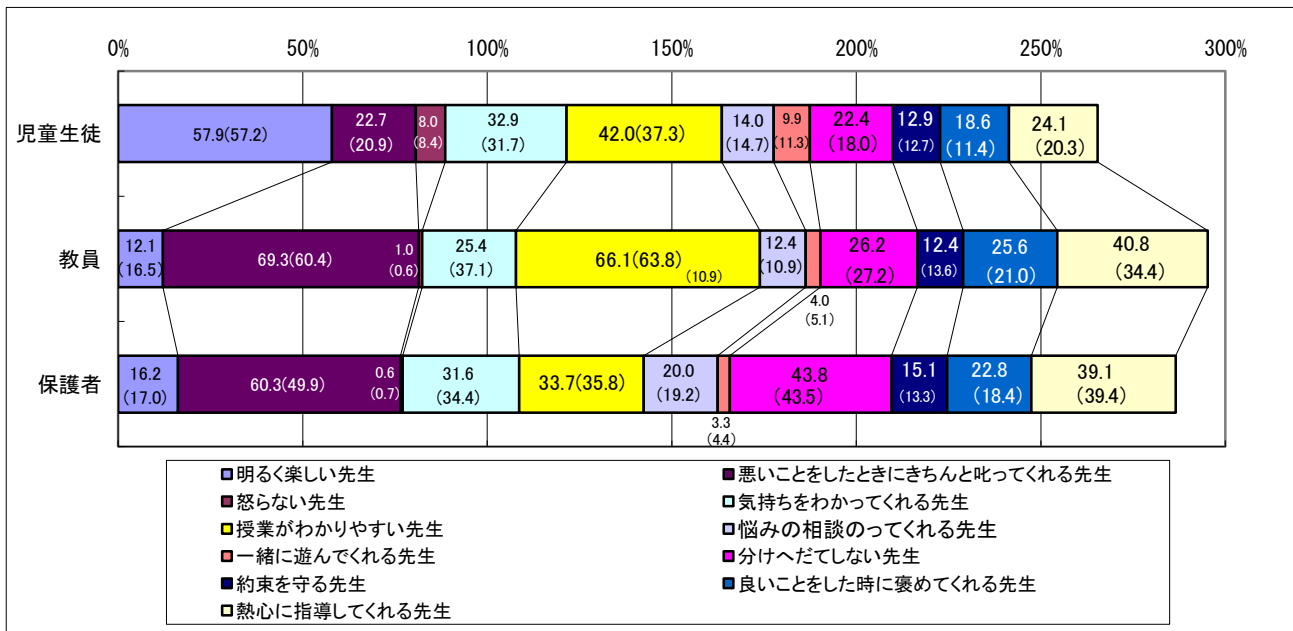
6 良い先生 【小学5年生…問16】【中学2年生…問16】【高校2年生…問16】
【教員…問10】【保護者…問16】

あなた（児童／生徒／子ども）にとって、良い先生とはどのような先生ですか。次の中からあてはまるものを三つまで選んで、番号を○でかこんでください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 明るく楽しい先生 | 2 悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生 |
| 3 怒らない先生 | 4 気持ちをわかってくれる先生 |
| 5 授業がわかりやすい先生 | 6 悩みの相談にのってくれる先生 |
| 7 一緒に遊んでくれる先生 | 8 分けへだてをしない先生 |
| 9 約束を守る先生 | 10 良いことをした時にほめてくれる先生 |
| 11 熱心に指導してくれる先生 | |

※複数回答のため100%を越えている。

※「悪いことをしたときは厳しく叱る先生」を平成24年度は「悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生」に変更。



【経年比較】「良い先生」の回答割合が高い項目

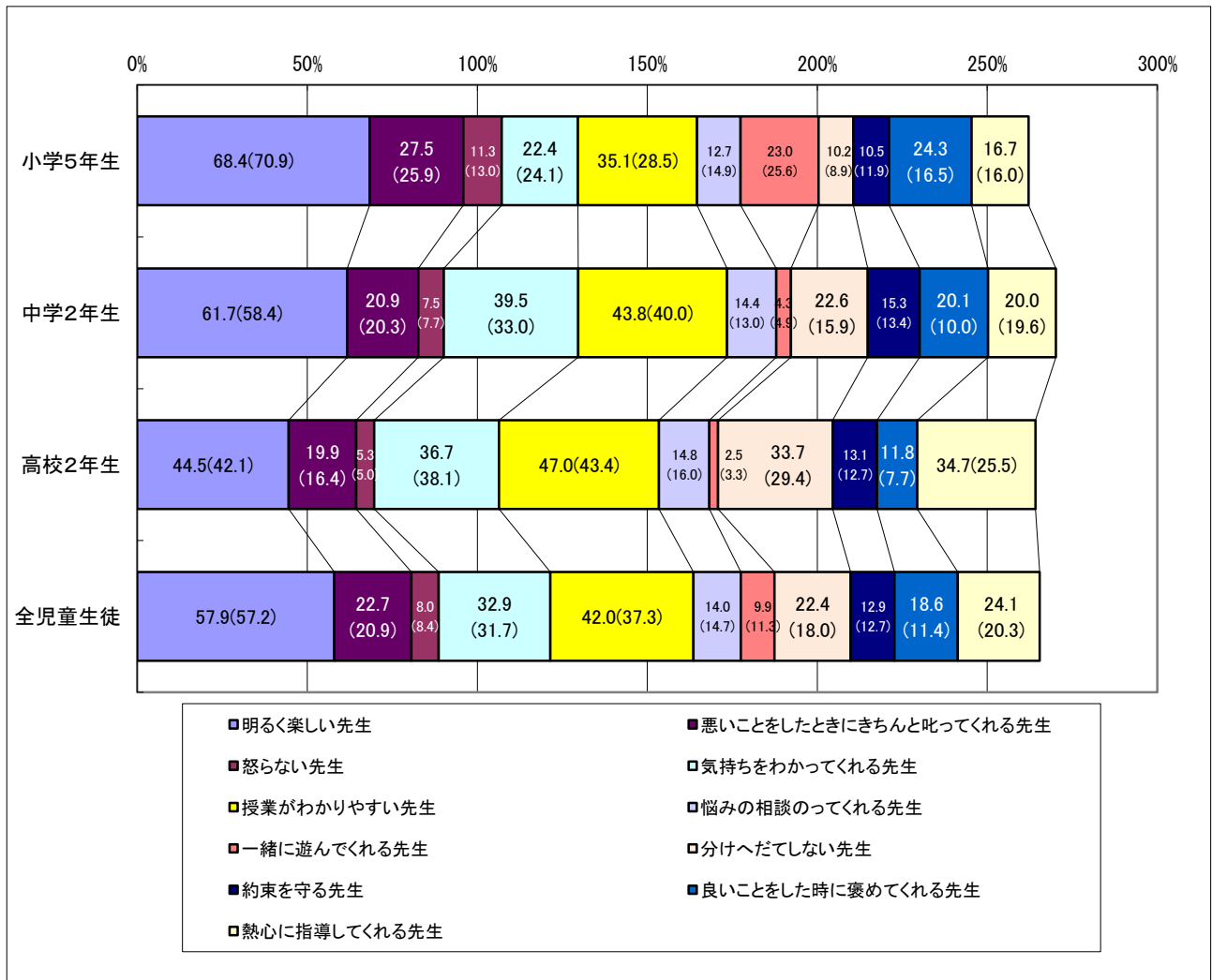
児童生徒	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	明るく楽しい先生 (60.8%)	明るく楽しい先生 (57.2%)	明るく楽しい先生 (57.9%)
	2	気持ちをわかってくれる先生 (40.4%)	授業がわかりやすい先生 (37.3%)	授業がわかりやすい先生 (42.0%)
	3	授業がわかりやすい先生 (39.4%)	気持ちをわかってくれる先生 (31.7%)	気持ちをわかってくれる先生 (32.9%)

教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	授業がわかりやすい先生 (60.1%)	授業がわかりやすい先生 (63.8%)	悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生 (69.3%)
	2	悪いときはきびしく叱る先生 (52.8%)	悪いときはきびしく叱る先生 (60.4%)	授業がわかりやすい先生 (66.1%)
3	気持ちをわかってくれる先生 (38.3%)	気持ちをわかってくれる先生 (37.1%)	熱心に指導してくれる先生 (40.8%)	

保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	分けへだてをしない先生 (50.4%)	悪いときはきびしく叱る先生 (49.9%)	悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生 (60.3%)
	2	悪いときはきびしく叱る先生 (45.7%)	分けへだてをしない先生 (43.5%)	分けへだてをしない先生 (43.8%)
3	気持ちをわかってくれる先生 (41.0%)	熱心に指導してくれる先生 (39.4%)	熱心に指導してくれる先生 (39.1%)	

●この10年の経年比較を見ると、年度によらず児童生徒の上位3項目の内容は同じである。教員・保護者では「悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生」の割合が増加し、平成24年度は1位となっている。

校種別



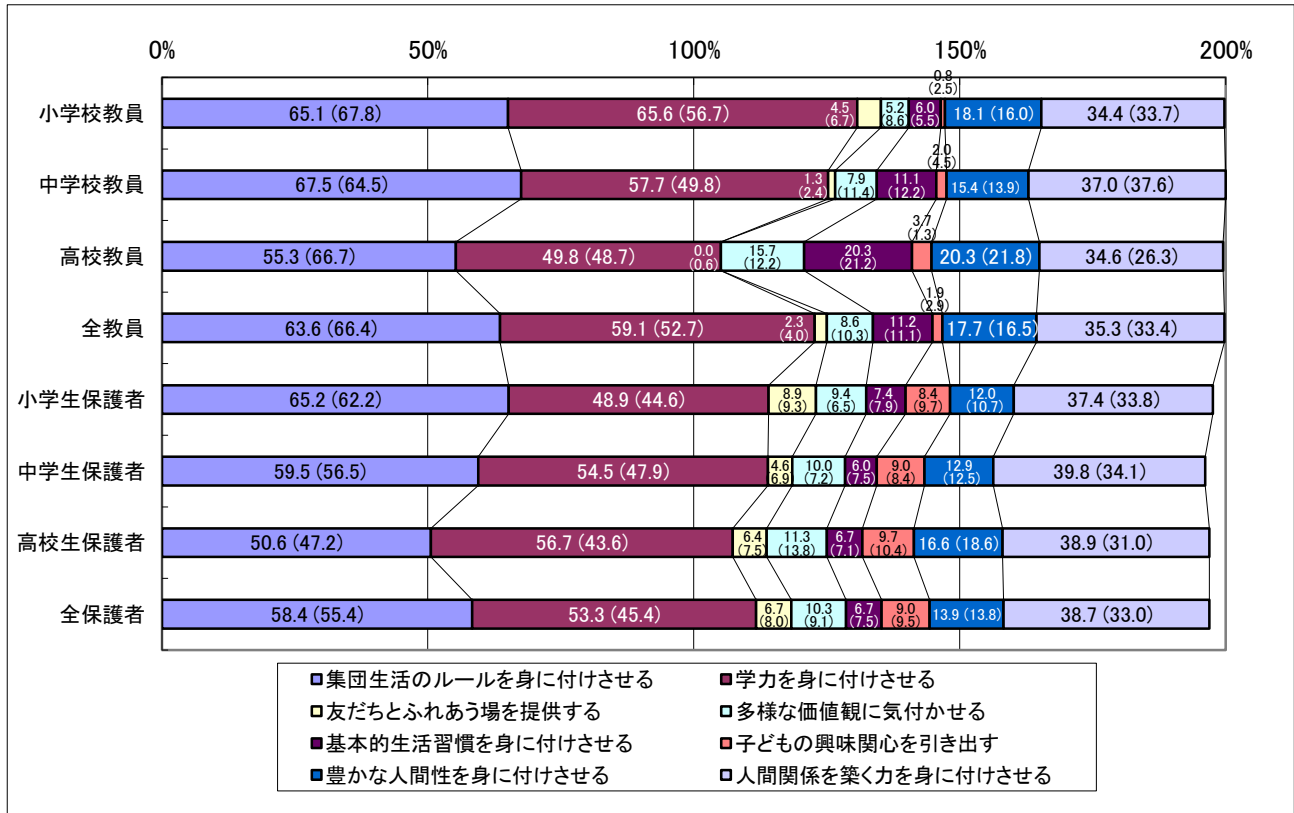
●各校種を見ると、回答の割合が高いのは、小5は「明るく楽しい先生」(68.4%)、「授業がわかりやすい先生」(35.1%)、「悪いことをしたときにきちんと叱ってくれる先生」(27.5%)であり、中2は「明るく楽しい先生」(61.7%)、「授業がわかりやすい先生」(43.8%)、「気持ちをわかってくれる先生」(39.5%)、高2は「授業がわかりやすい先生」(47.0%)、「明るく楽しい先生」(44.5%)、「気持ちをわかってくれる先生」(36.7%)である。

7 学校の役割 【教員…問8】【保護者…問11】

子どもが育つ上で学校はどのような役割を果たさねばならないと思いますか。次の中からあてはまるものを二つ選んで、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 集団生活のルールを身に付けさせる | 2 学力を身に付けさせる |
| 3 友だちとふれあう場を提供する | 4 多様な価値観に気付かせる |
| 5 基本的な生活習慣を身に付けさせる | 6 子どもの興味関心を引き出す |
| 7 豊かな人間性を身に付けさせる | 8 人間関係を築く力を身に付けさせる |

※複数回答のため100%を超えている。



●全教員と全保護者において、上位3項目は、平成19年度と同じく「集団生活のルールを身に付けさせる」（全教員63.6% 全保護者58.4%）、「学力を身に付けさせる」（全教員59.1% 全保護者53.3%）、「人間関係を築く力を身に付けさせる」（全教員35.3% 全保護者38.7%）である。

【経年比較】「学校の役割」の回答割合が高い項目

小学校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (73.4%)	集団生活のルールを身に付けさせる (67.8%)	学力を身に付けさせる (65.6%)
	2	学力を身に付けさせる (51.4%)	学力を身に付けさせる (56.7%)	集団生活のルールを身に付けさせる (65.1%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (31.9%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (33.7%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (34.4%)

中学校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (75.4%)	集団生活のルールを身に付けさせる (64.5%)	集団生活のルールを身に付けさせる (67.5%)
	2	学力を身に付けさせる (40.3%)	学力を身に付けさせる (49.8%)	学力を身に付けさせる (57.7%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (34.5%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (37.6%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (37.0%)

高校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団のルールを身に付けさせる (64.7%)	集団生活のルールを身に付けさせる (66.7%)	集団生活のルールを身に付けさせる (55.3%)
	2	学力を身に付けさせる (48.2%)	学力を身に付けさせる (48.7%)	学力を身に付けさせる (49.8%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (32.7%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (26.3%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (34.6%)

全教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (71.5%)	集団生活のルールを身に付けさせる (66.4%)	集団生活のルールを身に付けさせる (63.6%)
	2	学力を身に付けさせる (47.1%)	学力を身に付けさせる (52.7%)	学力を身に付けさせる (59.1%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (32.9%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (33.4%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (35.3%)

小学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (72.4%)	集団生活のルールを身に付けさせる (62.2%)	集団生活のルールを身に付けさせる (65.2%)
	2	学力を身に付けさせる (42.8%)	学力を身に付けさせる (44.6%)	学力を身に付けさせる (48.9%)
	3	友だちとふれあう場を提供する (25.3%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (33.8%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (37.4%)

中学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (68.6%)	集団生活のルールを身に付けさせる (56.5%)	集団生活のルールを身に付けさせる (59.5%)
	2	学力を身に付けさせる (43.4%)	学力を身に付けさせる (47.9%)	学力を身に付けさせる (54.5%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (24.0%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (34.1%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (39.8%)

高校生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団生活のルールを身に付けさせる (60.8%)	集団生活のルールを身に付けさせる (47.2%)	学力を身に付けさせる (56.7%)
	2	学力を身に付けさせる (44.8%)	学力を身に付けさせる (43.6%)	集団生活のルールを身に付けさせる (50.6%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (28.7%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (31.0%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (38.9%)

全保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	集団のルールを身に付けさせる (67.2%)	集団生活のルールを身に付けさせる (55.4%)	集団生活のルールを身に付けさせる (58.4%)
	2	学力を身に付けさせる (43.7%)	学力を身に付けさせる (45.4%)	学力を身に付けさせる (53.3%)
	3	豊かな人間性を身に付けさせる (24.7%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (33.0%)	人間関係を築く力を身に付けさせる (38.7%)

●この10年の経年比較を見ると、全教員、全保護者においては、年度によらず、また教員と保護者の別なく上位3項目は同じ内容で同じ順位である。全教員においては、この10年間で「学力を身に付けさせる」の増加幅が大きい(12.0ポイント増)。

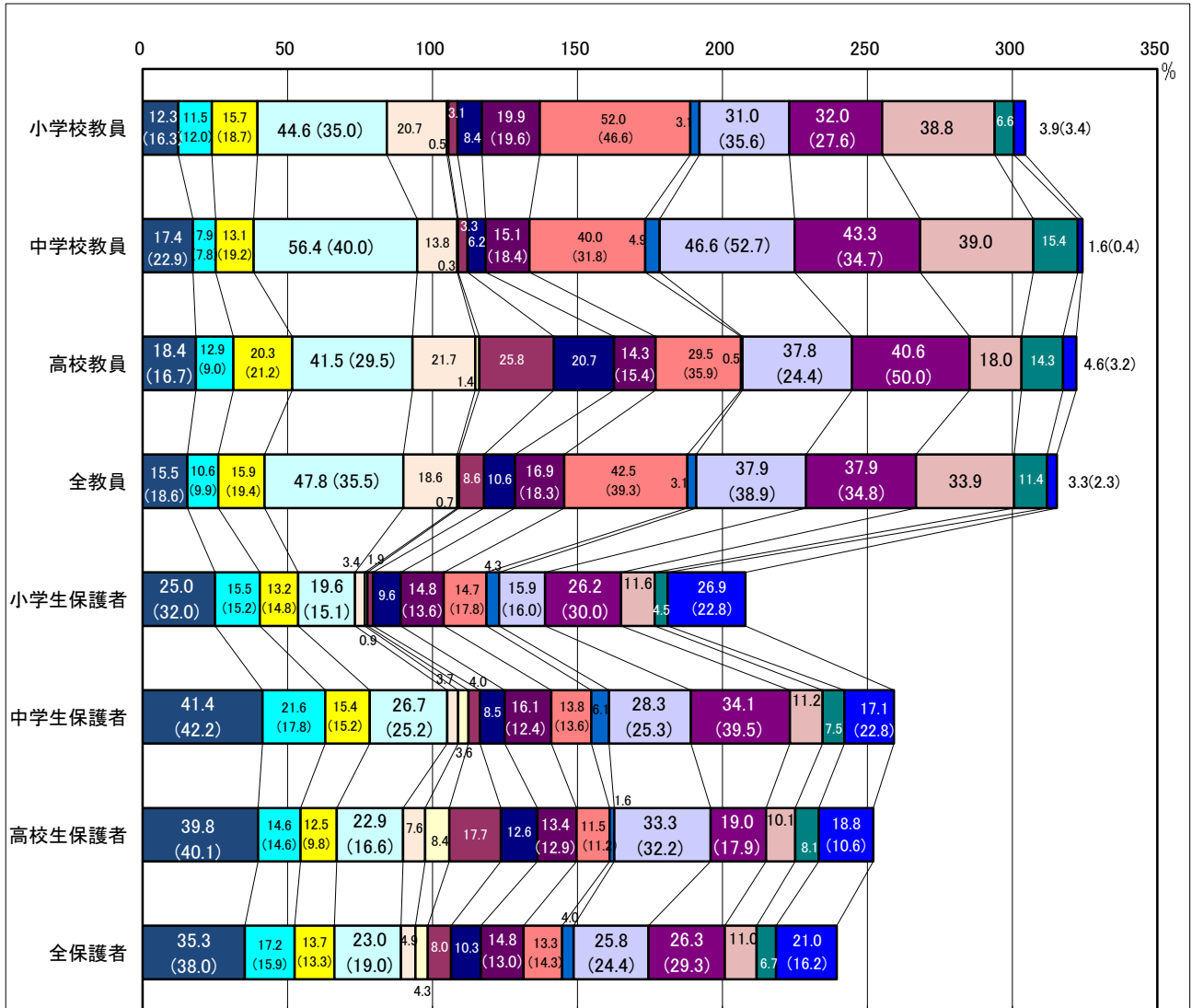
8 学校の問題点 【教員…問9】 【保護者…問12】

学校について問題であると思う点をあげるとすればどのようなことがありますか。次の中からあてはまるものを四つまで選んで、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 1 教師と児童生徒の間の信頼関係が薄れている | 2 教師としての仕事に対する専門意識が低い |
| 3 児童生徒に対する指導が毅然としていない | 4 授業についていけない児童生徒が増えている |
| 5 学校の規則が十分守られていない | 6 学校の規則が厳しい |
| 7 進学中心の指導になっている | 8 道徳教育が不十分である |
| 9 学校と家庭との連絡・協力が不足している | 10 1クラスの児童生徒数が多い |
| 11 1クラスの児童生徒数が少ない | 12 勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない |
| 13 学力の低下が進んでいる | 14 特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である |
| 15 情報モラル教育が不十分である | 16 特にない |

※複数回答のため100%を超えている。

※「11 1クラスの児童生徒数が少ない」「15 情報モラル教育が不十分である」「14 特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である」を新設。



- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ■教師と児童生徒の間の信頼関係が薄れている | ■教師としての仕事に対する専門意識が低い |
| ■児童生徒に対する指導が毅然としていない | □授業についていけない児童生徒が増えている |
| □学校の規則が十分守られていない | □学校の規則が厳しい |
| ■進学中心の指導になっている | ■道徳教育が不十分である |
| ■学校と家庭との連絡・協力が不足している | ■1クラスの児童生徒数が多い |
| ■1クラスの児童生徒数が少ない(新規) | □勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない |
| ■学力の低下が進んでいる | □特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である(新規) |
| ■情報モラル教育が不十分である(新規) | ■特にない |

- 全教員を見ると、回答の割合が高いのは「授業についていけない児童生徒が増えている」(47.8%)、「1クラスの児童生徒数が多い」(42.5%)、「勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない」(37.9%)、「学力の低下が進んでいる」(37.9%)である。全保護者を見ると、回答の割合が高いのは「教師と児童生徒の間の信頼関係が薄れている」(35.3%)、「学力の低下が進んでいる」(26.3%)、「勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない」(25.8%)、「授業についていけない児童生徒が増えている」(23.0%)である。
- 全教員と全保護者を比較して、割合の差が大きい項目を挙げてみると、「教師と児童生徒の間の信頼関係が薄れている」では全保護者の方が19.8ポイント高い。「1クラスの児童生徒数が多い」「授業についていけない児童生徒が増えている」「特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である」では、全教員の方がそれぞれ29.2ポイント、24.8ポイント、22.9ポイント高くなっている。

【経年比較】「学校の問題」の回答割合が高い項目

小学校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	1クラスの児童生徒数が多い (64.4%)	1クラスの児童生徒数が多い (46.6%)	1クラスの児童生徒数が多い (52.0%)
2	児童生徒の学校生活にゆとりがない (34.2%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (35.6%)	授業についていけない児童生徒が増えている (44.6%)	
3	授業についていけない児童生徒が増えている (28.7%)	授業についていけない児童生徒が増えている (35.0%)	特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である (38.8%)	

中学校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	児童生徒の学校生活にゆとりがない (52.3%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (52.7%)	授業についていけない児童生徒が増えている (56.4%)
2	1クラスの児童生徒数が多い (47.4%)	授業についていけない児童生徒が増えている (40.0%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (46.6%)	
3	授業についていけない児童生徒が増えている (37.2%)	学力の低下が進んでいる (34.7%)	学力の低下が進んでいる (43.3%)	

高校教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	学力の低下が進んでいる (44.9%)	学力の低下が進んでいる (50.0%)	授業についていけない児童生徒が増えている (41.5%)
2	学校の規則が十分守られていない (32.3%)	1クラスの児童生徒数が多い (35.9%)	学力の低下が進んでいる (40.6%)	
3	1クラスの児童生徒数が多い (31.7%)	授業についていけない児童生徒が増えている (29.5%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (37.8%)	

全教員	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	1クラスの児童生徒数が多い (49.9%)	1クラスの児童生徒数が多い (39.3%)	授業についていけない児童生徒が増えている (47.8%)
2	児童生徒の生活にゆとりがない (37.1%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (38.9%)	1クラスの児童生徒数が多い (42.5%)	
3	学力の低下が進んでいる (32.7%)	授業についていけない児童生徒が増えている (35.5%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない 学力の低下が進んでいる (37.9%)	

小学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (32.6%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (32.0%)	特にな (26.9%)
	2	授業についていけない児童生徒が増えている (24.7%)	学力の低下が進んでいる (30.0%)	学力の低下が進んでいる (26.2%)
	3	1クラスの児童生徒数が多い (23.9%)	特にな (22.8%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (25.0%)

中学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (43.7%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (42.4%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (41.4%)
	2	児童生徒の学校生活にゆとりがない (34.8%)	学力の低下が進んでいる (39.5%)	学力の低下が進んでいる (34.1%)
	3	授業についていけない児童生徒が増えている (26.9%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (25.3%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (28.3%)

高校生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (45.8%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (40.1%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (39.8%)
	2	児童生徒の学校生活にゆとりがない (33.1%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (32.2%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (33.3%)
	3	進学中心の指導になっている (21.4%)	学力の低下が進んでいる (17.9%)	授業についていけない児童生徒が増えている (22.9%)

全保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (40.8%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (38.0%)	教師と児童生徒の信頼関係が薄れている (35.3%)
	2	児童生徒の学校生活にゆとりがない (28.6%)	学力の低下が進んでいる (29.3%)	学力の低下が進んでいる (26.3%)
	3	授業についていけない児童生徒が増えている (23.9%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (24.4%)	勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない (25.8%)

●この10年の経年比較を見ると、教員では全校種ともに「授業についていけない児童生徒が増えている」の割合が増加しており、平成24年度は中、高教員で1位となっている。また、中、高教員では「学力の低下が進んでいる」も上位3項目に入っている。小教員では「勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない」に替わり、平成24年度には「特別な配慮が必要と思われる児童生徒への支援が不十分である」が3位に入っている。全保護者では年度によらず「教師と児童生徒の信頼関係が薄れている」が1位である。また、平成19年度以降、小、中保護者では「学力の低下が進んでいる」、中、高保護者では「勉強や部活動などで忙しく、児童生徒の学校生活にゆとりがない」がそれぞれ上位3項目に入っている。